

さらなる地域福祉を創造する財源の拡大に取り組みます

小地域福祉活動の財源である共同募金をはじめ、社協会費や善意銀行などの位置づけを再考し、住民の皆さまから集められた財源がより効果的に地域活動に還元されることと、募金活動とが一体的に進められるよう、その仕組みづくりへの検討を図ります。

共同募金、社協会費、善意銀行等の社協独自財源を新たな観点で見直します

さまざまな地域活動の場に参加し、社協のことを地域の方に知ってもらう啓発活動とともに、社協会費、善意の箱の設置による募金や寄付つきトートバッグの販売を行い赤い羽根共同募金へ寄付につなげていくなど、地域活動へ還元できるように活動を行いました。

イベントを通じて少しでも多くの人に社協のことを知ってもらい、また地域活動者の方やボランティア、作業所の方などにも一緒に参加や協力していただけるように取り組んでいきたいと考えています。



三輪地区ふれあい活動推進協議会総会で賛助会員呼びかけブース設置にご協力いただきました。



ふれあいフェスティバル in 広野では車いす体験を通して、社協の啓発活動を行いました。

募金百貨店（寄付つき商品）の啓発促進の取り組み

今年度新たに3店舗のご協力をいただくことができました。

* 8ページに紹介記事を掲載しています。

1月25日に開催した社会福祉大会では協力企業にもご参加、ご協力いただきました。地域住民だけでなく企業も一緒に地域福祉を支え合えるつながりをこれからも社協はすすめていきたいと思ひます。

かもめベーカリーの寄付付き商品たっぷりカスタード入りクリームパン大好評でした!



「第2次地域福祉推進計画」7つの重点項目

1. 地域福祉を担う人材の発掘・育成をさらに進めます
2. より多くの社会資源をコーディネートし、多様な主体による地域づくりを進めます
3. 災害時を想定した被災者支援体制を強化します
4. 当事者の権利を守るための支援ネットワークづくりをさらに進めます
5. 市内6カ所に配置された生活支援コーディネーター兼地域福祉支援員がさらなる地域福祉活動の進展を図ります
6. 権利擁護の視点を含めた総合相談支援体制を推進します
7. **さらなる地域福祉を創造する民間財源の拡大に取り組みます**

計画の詳細は社協ホームページでご覧いただけるほか、三田市総合福祉保健センター・各地域福祉支援室に設置しています